



平成 30 年 3 月 8 日  
独立行政法人国立科学博物館

### 「野依科学奨励賞」の受賞者の発表及び表彰式の開催について

独立行政法人国立科学博物館（館長：林 良博）は、2001 年ノーベル化学賞受賞者の野依良治博士のご協力をいただき、平成 14 年度より「野依科学奨励賞」表彰を実施しています。これは青少年の科学への興味関心を高め、科学する心を育てることを目的として、当館の「博物館の達人」認定制度と合わせて実施しているものです。

このたび、別紙のとおり平成 29 年度「野依科学奨励賞」の受賞者を決定いたしました。なお、本賞の表彰式等は野依良治博士を迎えて、平成 30 年 3 月 27 日（火）午後 2 時 30 分から国立科学博物館で開催いたしますので、広報につきまして格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、3 月 27 日の表彰式等の取材を希望される場合は、前日までにメールまたは電話でご連絡ください。

#### 平成 29 年度「野依科学奨励賞」表彰式等 概要

日 時：平成 30 年 3 月 27 日（火）  
午後 2 時 30 分～ 表彰式  
午後 3 時 30 分～ 野依博士と受賞者との交流会  
\*交流会では、野依博士を交えた歓談の場を設ける予定です。

場 所：東京都台東区上野公園 7-20 国立科学博物館  
地球館 2 階特別会議室（表彰式）  
地球館 3 階講義室（交流会）

出席者：科学技術振興機構 野依良治博士、国立科学博物館長他

#### 本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館  
事業推進部 学習課 担当：土屋  
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
TEL:03-5814-9876 FAX:03-5814-9898  
E-mail:jinzai@kahaku.go.jp  
<http://www.kahaku.go.jp/>

平成29年度 野依科学奨励賞受賞作品

(小・中学生の部)

氏名	大沢 はるか (オオサワ ハルカ)
所属等	世田谷区立烏山小学校 3年生 (セタガヤクリツカラスヤマシヨウガッコウ)
小論文タイトル	イモムシ ケムシの標本づくり

氏名	黒木 理宇 (クロキ マサタカ)
所属等	東広島市立郷田小学校 5年生 (ヒガシヒロシマシリツゴウタシヨウガッコウ)
小論文タイトル	スズメの数はなぜ減少しているのか？—スズメの子育てから探る—

氏名	平田 孝雄 (ヒラタ タカノリ)
所属等	さいたま市立北浦和小学校 5年生 (サイタマシリツキタウラワシヨウガッコウ)
小論文タイトル	メダカは泳ぐ位置をどう決める？

氏名	柳田 純佳 (ヤナギタ アヤカ)
所属等	静岡大学教育学部附属静岡小学校 5年生 (シズオカダイガクキョウイクガクブフゾクシズオカシヨウガッコウ)
小論文タイトル	卵の不思議を探る—卵黄と卵白をからの中で混ぜることができるか？—

氏名	片岡 嵩皓 (カタオカ タカヒロ)
所属等	出雲市立四絡小学校 6年生 (イズモシリツヨツガネシヨウカッコウ)
小論文タイトル	カタツムリとナメクジの研究 パートVI～なぜ体は切れないのか？～

氏名	宮寄 夢太 (ミヤザキ ユメタ)
所属等	出雲市立第二中学校 1年生 (イズモシリツダイニチュウガッコウ)
小論文タイトル	自宅庭の雑草のアレロパシー調査への挑戦2

氏名	加藤 遥奈 (カトウ ハルナ) 奥山 大聖 (オクヤマ タイセイ) 佐藤 珠里 (サトウ アカリ) 遠藤 諒 (エンドウ リョウ) 佐々木 雄輔 (ササキ ユウスケ) 加藤 優大 (カトウ ユウダイ) 吉尾 龍馬 (ヨシオ リョウマ)
所属等	由利本荘市立大内中学校 1年生 2年生 3年生 (ユリホンジョウシリツオオウチチュウガッコウ)
小論文タイトル	続・紙風船はたたくとなぜ膨らむ

氏名	片岡 柁人 (カタオカ マサヒト)
所属等	出雲市立第三中学校 3年生 (イズモシリツダイサンチュウガッコウ)
小論文タイトル	ダンゴムシとワラジムシのフンから防カビ物質を抽出したい！

氏名	高橋 伶佳 (タカハシ レイカ)
所属等	東京都 東洋英和女学院中学部 3年生 (トウヨウエイワジョウガクインチュウガクブ)
小論文タイトル	ニホンザル研究 Part2 ニホンザルは本当にヒトと違うのか —子育てと子どもの成長を追う—

(教員・科学教育指導者の部)

氏名	岩寄 利勝 (イワサキ トシカツ)
所属等	高岡市立中田中学校 教諭 (タカオカシリツナカタチュウガッコウ)
小論文タイトル	窓から気象学習～身のまわりの現象の観測・観察から～

氏名	野上 聖児 (ノガミ セイジ)
所属等	和歌山市立こども科学館 専門教育員 (ワカヤマシリツコドモカガクカン)
小論文タイトル	科学する心を育てるための取り組みと省察2